

2009経済学部創立60周年を迎えます

経済学部長 山 縣 弘 志

こまざわ
経済
通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1

経済学部同窓会 会計報告

同窓会の皆様に日頃のご支援を感謝申し上げます。経済学部の新学科現代応用経済学科も順調に立ち上がり、全国の受験生に認知されつつあります。ただ、定員一三〇名のところ、二年連続で入学者一八〇名となり文科省の注意寸前という状態であります。これは、ひとつには、我々学部の側が新学部の定員充足に自信がなかったのに対して、受験生の側の期待が上回り手続率が高まった結果と見られます。諸先輩方が営々と築いてこられたブランド、元気な学生諸君の姿に、改めて自信を持って叱咤されたと受け止めております。

平成二十二年度には経済学部創立六十周年を迎えます。過信を抑えつつ、節目の年を迎えるよう、気を引き締めております。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

経済学部同窓会総会が平成十九年十一月三日に開催れ、会計報告を行いました。会計単位は3年毎の決算であり、今期は第5期（平成十七年十月一日から平成二十年九月三十日まで）となるため、中間報告という形で行いました。

平成十九年九月三十日現在における「収入の部」合計は、前期からの繰越金と合わせ六、三八八、三三二円、「支出の部」合計は一、四八四、六〇〇円で、その主な支出は会報発行、経済学部同窓会長賞、ソフトボール大会支援等に一、三四〇、〇七三円を支出しており、次期繰越金四、九〇三、七三二円となっております。なお、第五期の決算報告につきましては、「こまざわ経済通信」に掲載ご報告いたします。

財務部会 池 嶋 良 一



平成19年11月3日

卒業式で「経済学部同窓会会長賞」授与

経済学部同窓会は、平成二十年三月二十五日に挙行された卒業式において、学業で優秀な成績を修め、人物共に優れた経済学部の学生9名に経済学部同窓会より「経済学部同窓会会長賞」が授与された。

経済学科フレックスA	商 学 科	経済学科フレックスB
氏 名	氏 名	氏 名
平 井 圭 太	井 原 葉 子	佐 藤 めぐみ
高 濱 祐 子	高 柳 小百合	塚 田 鈴 代
西 村 和 美	高 野 友芽奈	鈴 木 恵

表彰された9名は、教務部で選考され、経済学部教授会で審議の結果選出されたもので、表彰者は次の卒業生である。

表彰式は、卒業式の後、各学科に分かれて行われる卒業証書授与式の際に行われ、経済学部同窓会より表彰状と記念品がそれぞれの学生に授与された。

平井圭太、伊原葉子、佐藤めぐみさんの3名は「経済学部同窓会会長賞」と併せて「学長賞」も授与された。

写真は「経済学部同窓会会長賞」が授与された①高濱祐子さん、②西村和美さん、③佐藤めぐみさん、④塚田鈴代さん、⑤井原葉子さん、⑥高野友芽奈さん、⑦高柳小百合さん。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

在校生にお願い

学生の通学マナーについて多くの方から非常に厳しいご指摘をいただいています。大声をあげたり、道一杯に拡がって歩いたり、また歩きタバコなどもっての外です。キャンパスは美しく、通学路はキレイにをモットーに学び、遊びに励んでください。もちろん我われ教職員も社会人としてマナーを遵守します。

ホームカミングデーについて

第5回ホームカミングデーを昨年に引き続き開催する予定です。
 大学、短大を卒業されて10年、15年、20年と5年ごとを節目として卒業された同窓生をメインゲストとして大学へ迎える行事です。もちろんメインゲスト以外の卒業生も大歓迎です。開催日は11月の初めを予定しています。懐かしい先生や、同窓生に是非会いに来ていただきたいと思います。レセプションも予定しています。
 また、駒沢キャンパスから歩いて5分程のところに深沢キャンパスが完成しています。こちらも是非見学をしていただきたいと思います。

★阿部ゼミ

ゼミ内容の紹介

僕たちは阿部先生の元で、今年の三月下旬に実施された、ゼミ合宿から毎週水曜日にゼミ活動を行っています。ゼミ内容は日本経済の歴史について・・・というものでしたが、先生のご意向により経済的な考察を重視するために、国や産業などのくくりをなくした幅広い演習を行っています。僕たちには上の先輩はいませんが（正確には三年生はいますが、今年からです）大学院生の方々や、OBの方々の力を得て、課題を進

めています。

ゼミ長 藤江陽平
ゼミ生の意気込み！

藤江 陽平

二年（ゼミ長）

このゼミは上の代がないので僕がゼミ長をやっています。このゼミはみんなが自由に意見を述べられることができ、研究を進められるよい場だと思います。

倉沢 誠

三年（副ゼミ長）

阿部先生を筆頭に楽しくやっています。少人数なのでみんなで仲良くやれます。

黒田 隼矢

二年（合宿係）



上の代がないし、少人数なので自分たちのやりたいことができます。

田中 雄也

二年（合宿係）

のびのびと活動しています。何もかも最初からなのでとてもやりやすいゼミです。

生井 智久

三年（会計係）

上の代がないので頑張りたいです。

中島 聡

一年（書記係）

日本経済を知る良い機会なので、時間を有意義に使っていきたいです。

上小牧 諒

二年（書記係）

少人数ということもあり一人一人の意見に余裕を持って耳を傾けられ、取り組みやすいゼミです。

四方 章生

二年（コンパ係）

これからコンパ係頑張っていきます。

市原 慎也

二年（編集係）

上の代がないので思い通りにできるゼミだと思います。

太田 裕哉

二年（編集係）

上の代がないので、自分たちでゼミ体制などを決められ、とても勉強になるゼミです。

同窓会（GS会）

のお知らせ

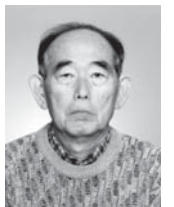
一月末の土・日に予定しています。

退職される先生・就任される先生

平成20年3月をもって、里中恆志先生（財政学担当、勤続42年）、岩下 弘先生（商業政策担当、勤続26年）が定年退職を迎えられました。両先生の長年にわたる経済学部への御尽力に心より御礼申しあげます。

一方、新年度より商業政策担当の後任として番場博之先生をお迎えしました。ご活躍を期待致します。退任と就任の言葉を掲載します。（「駒澤大学学園通信」第278号より転載）

教員・研究者としてのあり方



経済学部教授 岩下 弘

一九八二年愛知県女子大学から赴任した。歳はとっていたが着任は一番若いのであるから在外研究は夢であった。ところが八十四年に組合が、教員の急増期でもあり春闘で在外研究人員増を獲得し、八十五年から経済学部でもう一人行けることになった。しかし年度途中で次年度のことでもあり希望

者がなかった。そこでずうずうしく申し出た。実質的には三月中旬にスコットランドのスターリング大学に向けて出発したが、形式的には四月一日からであるため着任三年経過後というルールを満たしていたのである。更にずうずうしく延長もお願いした。二回目は二〇〇三年にエディンバラ大学行きも認めていただいた。この二回の在外研究から教員研究者としてのあり方に非常に大きな影響を受けた。退職にあたり大学当局およびとくに経済学部の先生方に心より感謝申し上げます。

財政政策共訳出版



経済学部教授 里中 恆志

一九八〇年四月、私はドイツのミュンヘン大学へ向けて一年間の在外研修のため出国した。中央大学大学院の恩師、故山口忠夫先生は、G・シユメルダース教授のわが国への紹介に大変な熱意をもっておられた。当時、『G シユメルダース 財政政策』の第三版を四人で共訳出版する計画があり、前半を山口忠夫先生と里中、後半を中村英雄（故成城大学教授

授）、平井源治（現明海大学教授）が担当した。膨大な原稿を先生に預けて出国した。訳出に確認を要する語は山口先生からの指示で当時ミュンヘン在住だった原著者を何度も訪ねて直接確認し、山口先生と里中との間は手紙でやり取りした。先生は高齢にもかかわらず午前三時頃から起きて原稿に手を入れてくださったと奥様から伺った。帰国したら立派な装丁の六九二ページからなる第三版が中央大学出版部で出来上がっていた。（なお、山口忠夫先生は本学法学部山口邦央教授のご尊父である）

経済学部教授 番場 博之

「商業政策」担当の番場です。これまで構造論・政策論を中心に流通経済学を研究してきました。また、戦後の高等学校における職業教育を中心に教育史の研究も進めています。学生さんたちには身近な出来事や空

間からビジネスの種を見つけられるセンスを磨いて欲しいと思っています。駒澤大学においても、商学・ビジネス、そして教育学について多くの方々と活発に議論ができることを期待しています。

経済学部ゼミシリーズ

★渡邊ゼミ

戦後日本の経済史・経営史に関する研究を進めています。私が鹿児島大学から駒澤大学へ移籍した二〇〇五年度にスタートし、早いもので四年目を迎えました。

ゼミでは年二回の合宿、資料調査や工場見



▲アサヒビール神奈川工場にて(二〇〇八、二、二〇)

経済史・経営史分野のゼミが集まり、その年に取り組んできた研究を発表しあう「四大学インターゼミ」でしょう。他大学の学生との交流は、自分たちを見つめ直すことのできる貴重な機会となっております。当ゼミでは、「私立大学の成長と経営問題」(二〇〇五年度)、「戦後農業とコメ自由化」(〇六年度)、「格差社会の歴史」(〇七年度)など、ユニークなテーマを報告するのが恒例となりつつあるようです。

やや苦労しているのが、ゼミ生の募集。経済学部で歴史に積極的

関心を持つ学生があまり多くないことも事実ですが、私の研究・教育面でのアピールがまだまだ足りないのかもしれない。幸いこのゼミの門をたたくてくれる学生たちはいずれも参加意識が高く、卒業してから上記のイベントなどに顔を出してくれるほどです。授業というよりは勉強会風の和やかな雰囲気を守りつつ、OB・OG諸

★有井ゼミ

兄弟の活躍に恥じない 後も続けていきたいと 充実したゼミ活動を今 思っています。

「有井ゼミに行こう！」

有井行夫先生率いる私達の有井ゼミは酒と義理と人情を重んじる漢気に溢れたゼミです。有井ゼミの主軸となる飲み会では有井先生やゼミの仲間と大いに語り合い、飲み明かし



週に一度のゼミ活動では一冊の本を新古典派の経済学と反新古典派の経済学を中心とした視点から、一年かけてゼミの仲間と共に分析していきます。

有井先生のお話は非常に面白く、また、経済学の初心者にもわかりやすい為、皆、退屈せずに授業を受けられます。

また、授業では本のみを使って学ぶのではなく、日経新聞や朝日新聞を先の視点から読み解いたり、日本人の職業別の平均年収から格差社会を読みとったりと、多種多様な勉強をします。

年に一度の合宿では、一冊の本をゼミの仲間達で要点や話の流れをまとめ、皆の前で発表し、その後、異なる経済学派にグループを分け、討論会を行います。この討論会は毎年白熱したものとなり、声を荒げてしまう事も少なくありません。しかし、その後の飲み会では、緊迫したムードも一変、皆和らかに酒を酌み交わします。

有井ゼミは素晴らしいゼミです。仁義を重んじる私達の有井ゼミに、貴方も足を運んでみてはいかがでしょう。

経済学部 商学科
三好 秀典

★谷敷 正光ゼミ

①ゼミの内容

日本の工業化と産業・経済発展史、経済発展と教育

②教員の近況

今年も火曜日から土曜に出校しています。いつでも連絡して下さい。出張等で上京の折はぜひ訪ねて下さい。

③ゼミの就職

企業の方は、最近就職状況が好転し、贅沢を云わなければ大体希望の企業に就職できます。今年も銀行、信金、クレジツト会社、各種メーカー、商社、学校事務職、公務員と多彩です。

教職の方は、小学校の教員採用は「バブル」に入り好調ですが、中学校・高等学校の教員

採用はまだまだです。しかし、教員志望者は全員教員として着任しました。中学校専任教員二名、高等学校常勤講師三名です。

④ゼミの同窓会
久しく行っていません。近いうちに実施する予定と聞いています。

⑤その他
インターシップの学生を引き受けて頂ける会社、事業者、団体を探しています。一名でもかまいません。きちんと教育して実習に行かせますので、卒業生の勤務先などでお引き受けいただける会社、事業者、団体がありましたら、研究室までお知らせ下さい。お願いいたします。

